

令和6年度事業計画

1. 推進部会活動計画

(1) 環境共生まちづくり事例の分析・整理《継続》

環境共生住宅の一層の普及促進を目的とし、「環境共生住宅 早わかり設計ガイド/戸建住宅編・集合住宅編」で取扱いのない『環境共生まちづくり・団地』について、昨年度に引き続き現地視察&ヒアリング調査を継続して行くとともに、これまで行った現地調査で得られた知見を総合的に整理分析し、様々な機会における情報発信のためのコンテンツ充実化を図る。

【実施予定】

- ①現地視察&ヒアリング調査の実施、これまで得られた知見の総合的な整理・分析
 - ・令和6年度も引き続き、現地視察&ヒアリング調査を継続して行う予定である。
 - ・事例の選定にあたっては、部会メンバーが関係する事例を中心に選定するとともに、地域性（特に、1, 2 地域）や特徴的なまちづくりテーマ（例えば、防災・防犯対応、ウェルネス対応、生物多様性対応など）にも留意して、3 事例ほどを調査対象に選定していく予定である。
 - ・現地調査により得られる内容についてはこれまで同様に「事例シート」として取りまとめるとともに、これまで行った現地調査で得られた知見を総合的に整理し、部会メンバーはもちろん kkj 会員に対し広く情報共有していく予定である。
- ②これら調査情報をもとに、kkj サイト内のコンテンツ「環境共生まちづくり事例データベース」の内容を更新する。

《令和6年度調査候補：いずれも調整中、これら事例候補から3事例を選択予定》

調査事例候補	相談先（会員メンバー他）
1)大宮ヴィジョンシティみはしの杜（埼玉県さいたま市） 2)吉川きよみ野「Eco Town 陽だまりの杜」（埼玉県吉川町） 他	ポラス(株)
1)スマートプロジェクト240 三田ゆりのき台（兵庫県三田市） 2)ピオニシティ高坂（埼玉県東松山市） 他	（一社）住宅生産振興財団
1)シャリエ長泉グランマックス（静岡県長泉町）	静岡ガス(株)
《1,2 地域の事例候補》 1)伊達エコビレッジ（北海道伊達市） 2)南幌町みどり野きた住まいのヴィレッジ（北海道南幌町）	伊達市 南幌町

(2) 環境共生住宅事例データベースの拡充《継続》

環境共生住宅への理解・普及を目的に、環境共生住宅事例データベースの拡充を継続的に図る。掲載要件に基づき、会員企業等が取り組む新築及び改修事例を収集し、データベースに追加しホームページを通じて情報発信する。

【実施予定】

- ①昨年度に引き続いて、会員企業（住宅メーカー、設備・部品供給メーカー等）から事例データを収集する。
- ②地域の工務店・設計事務所等から事例データを収集する。
- ③情報整理とホームページへの掲載を通じて情報を発信する。

(3) 「環境共生住宅の新たな魅力を考える勉強会」の開催《継続》

昨年度に試行的に実施した「環境共生住宅の新たな魅力を考える勉強会（第1回）」の反省点なども踏まえて、令和6年度も計画的に勉強会を開催する。

【実施予定】

- ① 2回程度開催予定。テーマやプレゼンター、開催時期などについては引き続き推進部会において協議予定である。（アンケート結果によれば、会員の関心が高いテーマは「ウェルネス・ビーイング」「少子高齢化」「地域防災」「空き家対策」「DX・AI」「複合用途開発」）
- ② 開催状況については、第1回勉強会同様にプレゼンテーション動画を協議会ホームページにアップし、情報発信する予定である。

2. 調査研究部会活動計画

(1) 環境共生住宅推奨部品を組込んだ「お勧め建材ガイド」「お勧め設備ガイド」の検討及び作成《継続》

「お勧め建材ガイド」「お勧め設備ガイド」の1地域編及び、2地域編の公開用PDFデータの作成を行う。「お勧め建材ガイド」は基礎の計算方法の改正に伴い、計算方法の確認等を行うとともに、仕様の検討を行う。「お勧め設備ガイド」は、新たに1地域版、2地域版を作成するにあたり、寒冷地特有の暖房設備や熱源機、換気システム等の仕様について検討し、掲載するケースを設定する。

【実施予定】

- ① 「お勧め建材ガイド」1地域編、2地域編の公開用PDFデータを作成する。
 - ・断熱レベルに応じた断熱工法ごとの断熱材及び開口部の仕様の組合せの検討
 - ・外皮性能の計算の実施
 - ・公開用PDFデータの作成
- ② 「お勧め設備ガイド」1地域編、2地域編の公開用PDFデータを作成する。
 - ・断熱レベルと設備グレードに応じた設備機器の組合せケースの検討
 - ・一次エネルギー消費性能の計算の実施
 - ・公開用PDFデータの作成

表1 お勧めガイド発行状況及び今後の検討予定

地域	お勧め建材ガイド		お勧め設備ガイド	
	既版発行	改訂版発行	既版発行	改訂版発行
1地域	2020.06	2024年度 改訂版公開予定	—	2024年度 新規公開予定
2地域		2024年度 改訂版公開予定	—	2024年度 新規公開予定
3地域	2019.06	2025年度 改訂版公開予定	—	2025年度 新規公開予定
4地域	2017.11	2025年度 改訂版公開予定	—	2025年度 新規公開予定
5地域	2024.03		2024.03	
6地域	2023.12		2023.12	
7地域	2023.12		2023.12	

(2) 環境共生住宅推奨部品データベースの運営・管理《継続》

推奨部品の登録及び利用の拡大を目指し、一般にアピールする方策等について検討する。

また、会員企業より新規に登録の希望がある部品についての情報収集等を行い、新たな推奨部品の登録に向けた検討によって、部品データベースの充実化を図る。

【実施予定】

- ① 推奨部品の普及を目指し、部品分類やホームページ（環境共生住宅推奨部品データベース）掲載内容等を検討する。
- ② 新たな推奨部品の登録に向けた情報収集や検討作業を行う。

【新たに検討予定の部品】

- ・ガラスフィルム（遮熱・断熱フィルム）

③「環境性能等の強化・拡充項目」に新たに設けた推奨基準項目「XI レジリエンスの向上」について、該当する推奨部品を検討し、推奨基準等についても合わせて検討する。

【新たに検討予定の部品分類（既存部品分類）】

- ・給湯・給湯暖房機器（エコキュート、ハイブリッド給湯機）
- ・雨水利用システム

【新たに検討予定の部品分類（新規部品分類）】

- ・プレトラックコンセント
- ・感震ブレーカ
- ・自動切替開閉器

④環境共生住宅推奨部品として既に登録されている部品及び今後登録する部品のうち、特にPRしたい部品を紹介する「推奨部品紹介シート」を検討、作成する。

3. 広報部会活動計画

(1) 環境と共生する家づくりに関する情報発信《新規・継続》

エンドユーザーに向けて、環境共生住宅の良さやそこでの暮らし方についての情報発信を引き続き実施する。子どもから大人までを対象とした「環境と共生する暮らし方教室」で利用する教材の企画・作成を行う。

【実施予定】

- ①居住者インタビュー（くらしかた・すまいかた）の実施
- ②「環境と共生する暮らし方教室」向け教材の企画・作成

(2) 会員サービスの充実（環境共生に関する最新情報の発信）《継続》

見学会や交流セミナーの開催、機関誌「SYMBIOTIC HOUSING」の発行、会員専用情報の充実化を図り、より魅力的な会員サービスを提供できるような広報活動を行う。

【実施予定】

- ①見学会の開催（2回）
- ②交流セミナーの開催（2回）
- ③技術研修交流会*（会員からの依頼により随時）
- ④機関誌「SYMBIOTIC HOUSING」の発行（1回）
- ⑤kkjの活動情報発信（部会情報及び活動レポート等）

※技術研修交流会

異業種が集まる当協会の特徴を活かし、会員相互の環境共生関連事業における業容拡大や新たな事業機会等に寄与する機会創出を目的とし、会員企業における最新の技術情報をテーマとした相互交流・情報交換を図るための研修交流会。正会員・情報会員・地域会員を対象とし、会員からの依頼に応じて、オンラインの活用も検討し実施する。

(3) 会員拡大や協議会の認知度向上等に向けた広報活動《新規・継続》

kkj サイトを中心に、協会の活動や環境共生に関する最新情報を積極的に発信していく。またサイトのアクセス解析結果を活かし、既存ページの見直しを行い、より効果的な広報・普及活動を展開する。

【実施予定】

- ①kkj サイト解析結果を活かした広報・普及活動の展開
- ②地域からの便り（kkj 会員からの寄稿を募る）
- ③kkj ホットニュースを活用した情報発信
- ④kkj サイトによる各種情報発信及びその管理

4. 普及展開小委員会活動計画

(1) 環境共生住宅 普及展開方策の検討《新規・継続》

脱炭素型社会やSDGsに賛同する組織として、社会的要請やニーズに対応すべく体制や活動内容等の更なる充実を図る。

地域の工務店・設計事務所等を中心的な対象として、kkj活動の成果物（出版物やツール等）や蓄積している知見等を総合的・効果的に活用した環境共生住宅やパッシブデザインの普及に資する活動を展開することにより、会員の拡大を図る。

これにより、地域の気候風土に合った、より省エネで快適な住宅及びその設計手法の普及・浸透を図り、脱炭素社会へ寄与することをめざす。

【実施予定】

①脱炭素型社会、SDGsに向けたkkj活動を広く訴求するための新たなツール作成や情報発信を行う。

例)

- ・団体名称変更に伴うパンフレットの作成
- ・「環境と共生する暮らし方教室」の企画・実施 等

②様々な機会を通じて、環境共生やパッシブデザインに関する考え方や設計手法等の普及と浸透を図るための方策を企画し実施する。

例)

- ・品確法の断熱等性能等級の上位等級（等級6、等級7）の創設も踏まえ、「お勧め建材ガイド」「お勧め設備ガイド」の解説セミナーを開催
- ・出版物やツールを連携して活用した実務者向けセミナー等の普及展開方策の検討と実施 等

③kkjの活動成果を活用した普及展開方策、会員拡大方策を検討し実施する。

例)

- ・kkj活動成果（補助事業の成果物）の公開とこれらを活用したセミナー等普及展開方策の検討 等

④ESHパッシブデザインツールの機能及び利便性・操作性向上等のためのバージョンアップを企画し、実施する。

⑤kkjの活動の更なる活性化を目的とし、会員サービス向上につながる新たな活動について検討する。

例)

- ・まちづくりに関する事例紹介及び意見交換会の企画と実施
- ・自社製品等のPRを通じた会員交流の場の創出に関する企画と実施 等

⑥非住宅に関連する活動についての企画検討を行う。

例)

- ・部会、WG等の活動内容及び位置づけ等の企画検討を行う。

5. 事務局からの情報発信

(1) 協会活動に関するニュースリリースの発行《継続》

協会活動や取組み等について、住まいやまちづくりに関わる事業者、一般消費者等に広く認知してもらうため、協会の活動成果に係るニュースリリースを発行し、積極的に報道機関等に対して情報発信をする。

(2) 会員メールマガジンによる情報提供《継続》

会員に関連のある国土交通省等の行政や住宅関連団体に係る最新情報を収集し、これらの情報を会員メールマガジンにて配信・提供する。

(3) ホットニュースによる会員情報提供《継続》

kkj 会員に限り、各々が実施するイベントやセミナー等の情報を kkj ホームページに掲載することができ、会員ホームページとリンクすることで会員情報の提供を広く発信する。

6. 国庫補助事業

環境・ストック活用推進事業のうち、

- (1) サステナブル建築物等先導事業（省 CO₂ 先導型）のうち LCCM 戸建住宅部門を除く部門に係る事務事業の実施

（国土交通省補助事業）《継続》

国土交通省における標記事業について、引き続き補助金交付に係る事務事業を実施。

- (2) サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）（既採択分）に係る事務事業の実施

（国土交通省補助事業）《継続》

国土交通省における標記事業について、引き続き補助金交付に係る事務事業を実施。

- (3) 既存建築物省エネ化推進事業に係る事務事業の実施

（国土交通省補助事業）《継続》

国土交通省における標記事業について、引き続き補助金交付に係る事務事業を実施。

- (4) サステナブル建築物等先導事業（省 CO₂ 先導型）のうち LCCM 戸建住宅部門（既採択分を除く）に係る技術的審査・事務事業の実施

（国土交通省補助事業）《新規》

国土交通省における標記事業について、補助金交付に係る技術的審査・事務事業を実施。

住宅・建築物カーボンニュートラル総合推進事業のうち、

- (5) LCCM 住宅整備推進事業（既採択分）に関する技術的な審査・事務事業の実施

（国土交通省補助事業）《新規》

国土交通省における標記事業について、技術的な審査・事務事業を実施。

- (6) 地域型住宅グリーン化事業に係る評価・事務事業の実施

（国土交通省補助事業）《継続》

国土交通省における標記事業について、引き続き補助金交付に係る評価・事務事業を実施。

- (7) 環境・ストック活用推進事業（うち、調査、普及・広報に関する事業）の実施

（国土交通省補助事業）《新規》

国土交通省における標記事業について、①「建築物におけるエネルギー消費量の実態等に係る調査・データベースの整備事業」、②「消費者が省エネ性能の高い住宅を使いこなす住まい方等の検討」の事業を実施。